

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（領域開拓プログラム）
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要

課題

人文学・社会科学における方法論の検討および新たな創出の試み

研究テーマ名

対話型アーカイブズによる新たな「島嶼の知」の創出に基づく島嶼地域科学の体系化

責任機関

国立大学法人琉球大学

研究実施期間

令和2年10月～令和5年3月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	波多野 想	琉球大学・島嶼地域科学研究所・教授
分担者	佐藤 崇範	琉球大学・島嶼地域科学研究所・特命助教
分担者	藤田 陽子	琉球大学・島嶼地域科学研究所・教授
分担者	鳥山 淳	琉球大学・島嶼地域科学研究所・教授
分担者	宜野座 綾乃	琉球大学・島嶼地域科学研究所・准教授
協力者	山田 健太	琉球大学・国際地域創造学部・准教授
協力者	山極 海嗣	国立民族学博物館・人類文明誌研究部・外来研究員

配分（予定）額

（単位：円）

令和2年度	令和3年度	令和4年度
2,847,000 円	5,850,000 円	5,850,000 円

※令和3年度・令和4年度については予定額

研究目的の概要

島嶼は世界が抱える地域的・社会的課題が先端的に表出する場である。そのため、島嶼の課題の自律的解決に資する学術的探究を新たな視点にたち進めることは、世界の課題解決に対する先導的役割となる。本研究は、大陸の視点によって編成されてきた島嶼地域研究を島嶼の視点によって脱構築し、島嶼の自律性構築を導く学術的実践を進める。

研究計画の概要

島嶼地域科学の実践科学としての方法論の確立を目指すにあたり、(1) 研究者と利害関係者グループによる知の協働収集、(2) 知の資源化による知的基盤の整備、(3) 知に対するアノテーションとキュレーション、(4) 地域課題の解決に向けた対話、(5) 群としての知の新たな関係性創出と島嶼間関係の再構築、の5段階が必要となる。本提案にあたり、主に(1) (2) (3) を実行し、そこで得られた知見をもとに、方法論の論理的構築を進める。